

学校評価 最終報告

	重点項目	評価指標	評価	これからの取組
確かな学力の育成	学力の定着	○期末テストにおいて、期待得点を上回った児童の割合を75%以上にする。 【最終結果】 国語 84.7% 算数 85% 理科 89.1%	4	- 児童一人一人が自分の考えを明確にしていけるよう、教師の発問や協働的な場づくりを工夫する。 - 問題文を丁寧に読ませ、何を問われているのか正しく理解させる。 - ペーパーやデジタルの両面を有効に活用して復習に取り組みせるとともに、家庭学習として授業の進度に合わせた課題を出し、授業内容の定着を図る。 - 給食前学習で前学年までの既習事項を取り扱い、当該学年の学習内容との関連を図る。
		○標準学力調査の平均正答率を全国平均7ポイント以上にする。 【最終結果】 全学年平均+12.3Pt	4	
	読書活動の推進	○自己決定した目標冊数を達成する。 【最終結果】 全学年平均目標冊数達成 52.8%	3	- 授業で図書に行ける回数等を伝え、目安になる目標冊数を確認しながら、適切な目標を立てさせる。 - 貸し出し統計表をもとに、ジャンルが偏っている児童への声掛けを継続して行っていく。 - 児童が読みたくなる本を増やすなど、図書館教育の充実を図る。
豊かな心の育成	自己肯定感を高める	○自分にはよいところがあると思う児童85%以上にする。 【最終結果】 91.1%	4	- 今年度は「自尊感情アンケート」に取り組むことで、児童一人一人の心の状態を把握しながら声掛けをすることができた。来年度も継続していきたい。 「西小きらきら」（他者のよいところ見つけ）の取組では、教職員が学級や学校全体の様子を見ながら、より子供たちの様子を知ることができた。来年度は、校内放送や掲示をより工夫していきたい。
	気持ちのよいあいさつの奨励	○気持ちのよいあいさつが出来る児童の割合（自己評価）を85%以上にする。 【最終結果】90%	4	- 児童会提案のあいさつ運動がきっかけとなってあいさつをする児童が増えてきた。あいさつ運動をこれからも継続していきたい。 - 児童会において具体的な提案内容を考えさせるなど、より児童主体の取組にしていく。
健やかな体の育成	運動好きの育成	○新体力テストの種目別項目で、県平均を70%以上上回る。 【最終結果】58.3%	3	- 引き続き、全学年で体育科の授業の最初に「海田西体操第一」を行う。 - 運動やスポーツを行うことを好意的に捉える児童を増やすことができるように、「体力アップ貯金カード」に継続して取り組んでいく。 - 西っ子外遊びで、遊びのレパトリーを増やせるように、教員から遊びの種類を紹介して、実施する。
	規則正しい生活習慣	○早起きをする児童の割合を75%以上にする。（生活リズムカレンダー実施） 【最終結果】93.3%	4	- 引き続き、一律の目標ではなく、個人で目標を立てるとともに、担任から個別の呼びかけを行っていく。 - 家庭でのスクリーンタイムの時間やデジタル端末の使用制限への取組を継続する。保健だよりや掲示などによる啓発もより工夫しながら継続する。 - 早起きの時刻の目安やスクリーンタイムの目安も提示し、健康的で規則正しい生活の大切さを児童・保護者へ呼び掛けていく。 - 睡眠時間の確保のため、早寝早起き、朝ご飯、運動すべてが揃っていることを保健だよりや学級指導等を通して、啓発する。
信頼される学校	「子供と合う時間」を確保する。	○入退校時刻記録を基にした時間外勤務45時間以内の職員の割合を70%以上にする。 【最終結果】月3.3回	4	- 状況に応じて業務や分掌を見直すとともに、学級事務や作業等に協働的に取り組めるよう、教職員のグループ化をより効果的に活用する。 - 退勤時間の自己管理システム化、定時退校日等の取組を徹底していく。